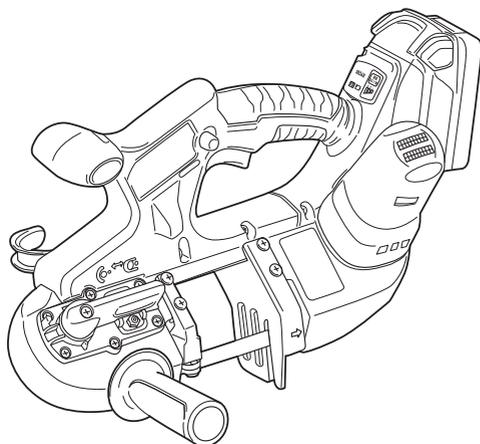


# RYOBI

## 充電式スチールバンドソー

### BSB-180

# 取扱説明書



※ 電池パック、充電器は付属していません

### もくじ

■安全上のご注意	1～8
■各部の名称	9
■仕様・付属品	10
■用途	10
■別販売品	11
■1 充電あたりの作業量（目安）	11
■電池パック・充電器について	12
■ご使用前の準備	13～14
■操作方法	15～21
■切断作業	22～24
■保守と点検	25～26

このたびは、リョービ 充電式スチールバンドソーをお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、  
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう  
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

# 安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。

●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△危険」と「△警告」と「△注意」に区別していますが、それぞれ次の意味を表します。

△危険：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

「△危険」・「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

●他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

## 危険

安全作業のために：

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
  - ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは火への投入、加熱をしないでください。
3. 電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。
4. 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。
  - ・電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
  - ・電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

# 危険

5. 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
  - ・発熱・発火・破裂のおそれがあります。
6. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
  - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
7. 電池パックを電源コンセントや、車のシガーソケットなどに直接接続しないでください。
  - ・高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火する原因になります。
8. 電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。
  - ・指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

# 警告

1. 正しく充電してください。
  - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
  - ・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
  - ・使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
2. 感電に注意してください。
  - ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・作業場は十分に明るくしてください。
  - ・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
4. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
5. 防音保護具を着用してください。
  - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

# 警告

6. 加工するものをしっかりと固定してください。
  - ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
7. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。
8. 不意な始動は避けてください。
  - ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - ・電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・この取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
10. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
  - ・失明のおそれがあります。
11. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。
12. ご使用済みの電池パックは一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。
  - ・棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
13. 電池パックを電子レンジに入れないでください。
  - ・急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。
14. 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発生したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。
  - ・そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
15. 電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
  - ・漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

# 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
  - ・ 充電工具や電池パックを、温度が 45℃以上上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車内など）に保管しないでください。
4. 無理して使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
  - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
  - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
  - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
  - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
  - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
  - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
  - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
  - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

# 注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
  - ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
  - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
  - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に変形がないか確認してください。
  - ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
  - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
  - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
14. 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
  - ・皮膚がかぶれたりするおそれがあります。
15. 電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。
  - ・充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。
16. 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。
  - ・保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
17. 充電工具の修理は、専門店で依頼してください。
  - ・サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。

## 注意

- ・ 充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は、点検・修理に出してください。
- ・ この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

### 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

## 充電式スチールバンドソーご使用に際して

先に充電工具として共通の危険・警告・注意事項を述べましたが、充電式スチールバンドソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

## 警告

1. 作業する箇所に電線管や水道管、ガス管などがある場合は下記を十分確かめてください。
  - 電線管：通電していないことを確認
  - 水道管：水道管内に液体が残っていないことを確認
  - ガス管：ガス管内にガスが残っていないことを確認
- ・ 帯ノコ刃が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。
2. 使用中に振回されないように、本体を確実に保持し作業してください。
  - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 保護カバーは必ず取付けてください。
  - ・ 切断時に切り粉が飛散したり、帯ノコ刃が破断したり、外れた場合、本体から飛び出してけがの原因になります。
4. 使用中は、回転している帯ノコ刃や切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。
  - ・ けがの原因になります。

# 警告

5. フル充電された電池を複数個続けて使用する作業では、本体が冷めるための時間を設けてください。
  - ・ 複数個連続で使用すると、本体に支障をきたすばかりでなく、本体の温度が上昇し、低温やけどをするおそれがあります。
6. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（帯ノコ刃など）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
  - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。
  - ・ 端子に金属類を接触させないでください。
  - ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
  - ・ 雨や水に濡らさないでください。
9. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所での使用や充電はしないでください。
  - ・ 爆発や火災のおそれがあります。
10. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
  - ・ 段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
  - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
  - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
11. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。
12. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

## ⚠ 注意

1. 帯ノコ刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
  - ・ 確実でない、外れたりし、けがの原因になります。
2. 帯ノコ刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。
  - ・ 帯ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
  - ・ 回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向に帯ノコ刃を向けて空転させ、本体の振動や帯ノコ刃の面振れなど異常のないことを確認してください。
  - ・ 異常があるとけがの原因になります。
5. 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
  - ・ 強い反発力が生じ、けがの原因になります。
6. 本体を万力などで保持して帯ノコ刃を上向きにした使い方はしないでください。
  - ・ 不意の接触などで、けがの原因になります。
7. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。
  - ・ 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
8. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
  - ・ けがの原因になります。
9. 作業直後の刃物類（帯ノコ刃）、切りくず、電池パック端子部は高温になっていますので触れないでください。
  - ・ やけどの原因になります。
10. 充電中、異常発熱などの異常に気づいたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
  - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

## リチウムイオン電池の回収にご協力ください。



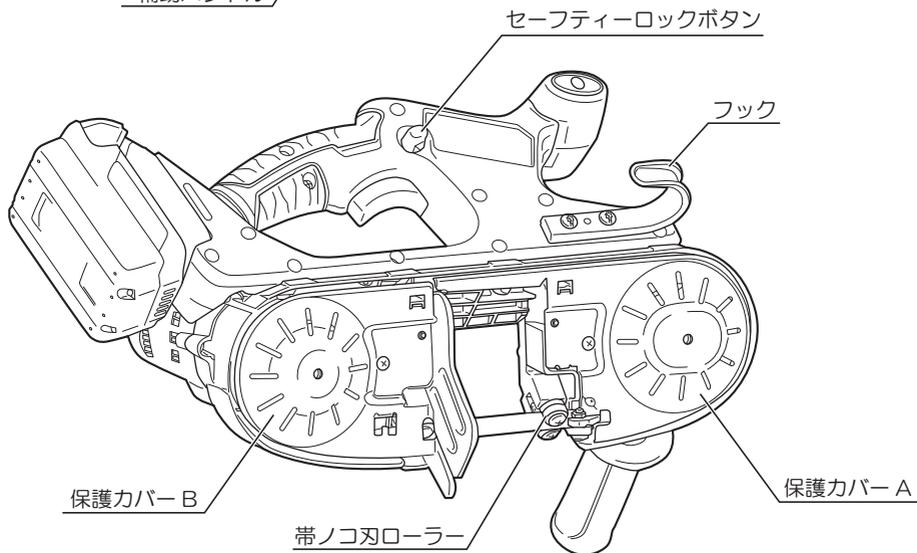
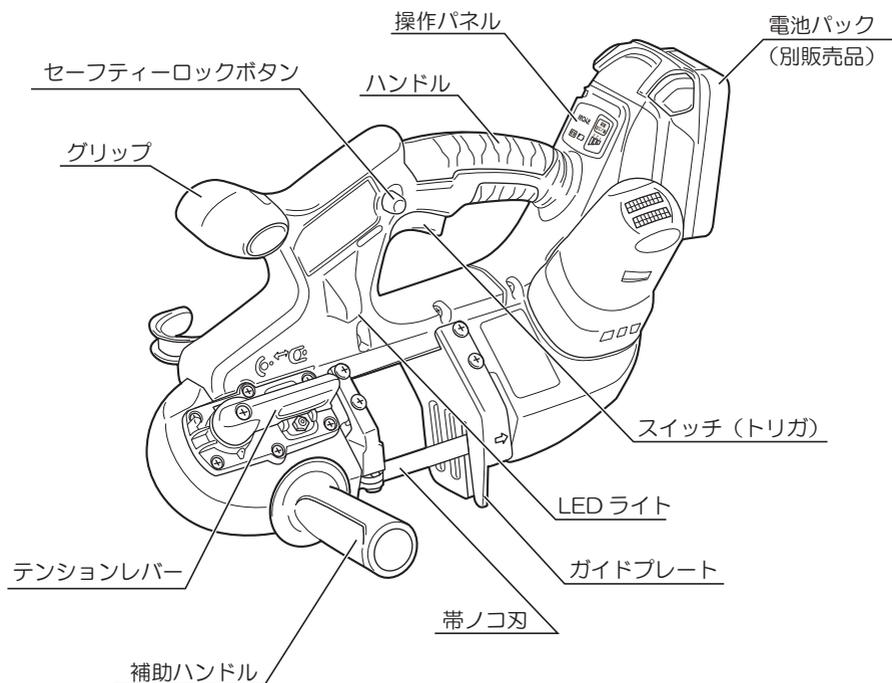
Li-ion

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。リョービグループでは、希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっています。不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお持ちくださるようお願いいたします。

## ⚠ 注意

- ・ 不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分の短絡により発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

# 各部の名称



# 仕様・付属品・用途

## ●仕様

### ●本体

- ・帯ノコ刃周速（高速時）…………… 2.7m/s (162m/min)
- ・最大切断能力 丸パイプ……………（外径）60.5mm ※1  
角パイプ……………56 × 63.5mm
- ・帯ノコ刃（周長）…………… 733mm
- ・電圧……………DC 18V
- ・対応電池…………… 18V リチウムイオン電池
- ・本体寸法（長さ×幅×高さ）…………… 425 × 261 × 240mm ※2
- ・質量（電池パックを含む）…………… 3.9 kg ※2

※1 外径 56mm 以上を切断する場合は、パイプを回しながら切断してください。

※2 DC18V 5,000mAh の電池パック取付け時

## ●付属品

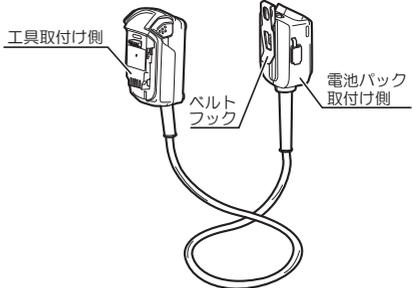
- ・帯ノコ刃…………… 1  
（周長 733mm ×幅 12.7mm ×厚さ 0.5mm ×山数 14/18）
- ・補助ハンドル…………… 1
- ・フック（本体取付け）…………… 1
- ・キャリングケース…………… 1

## ●用途

- ・各種金属の切断（鋼管、ステンレス管、鋼材、電線、アルミニウム）

# 別販売品

## ●別販売品

<ul style="list-style-type: none"><li>●電池パック / 充電器 12 ページ 「●電池パック・充電器について」参照</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●帯ノコ刃 (3 本組) (周長) (幅) (厚さ) (山数) 733mm × 12.7mm × 0.5mm × 14/18</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>●電池パックアダプタ BA-180 電池パックを充電工具体でなく、ベルトなどに取付けることができます。本体の質量が軽くなるため、作業時の疲労が軽減します。ご使用の際は、電池パックアダプタに同梱されている取扱説明書をよくお読みください。</li></ul>	



- ・別販売品は純正品をお買い求めください。  
別販売品の詳細につきましては、総合カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ・別販売品は予告なく変更することがあります。

## 1 充電あたりの作業量 (目安) (周囲温度 20℃)

※ 表中の数値は満充電にしたときの参考値です。電池パックの電池容量および、材質、帯ノコ刃の切れ味、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。

(5,000mAh 電池パック使用時)

材 料	切断数
鋼管 SGP-40A (φ 48.6mm t3.5mm)	40
鋼製 電線管 C39 (φ 38.1mm t1.6mm)	180

# 電池パック・充電器について

## ●電池パック・充電器について

- ・本機に使用可能な電池パックおよび充電可能な充電器、充電時間は下表の通りです。お手持ちの電池パック、充電器をご使用の場合、または購入される際は、下表をご確認ください。

充電器		電池パック (18V)	リチウムイオン電池		
			B-1815L 1,500mAh	B-1850L 5,000mAh	B-1860L 6,000mAh
※1 充電時間	UBC-1802L ※2		25分	84分	91分
	UBC-1803L ※2		69分	250分	262分
	BC-1800L	80%充電※3 (実用充電)	18分	25分	31分
		満充電	24分	37分	47分

※1 充電時間は、周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

※2 充電器 UBC-1802L, UBC-1803L は、満充電時の時間です。

※3 80%充電（実用充電）は、満充電の80%の充電状態です。

充電方法については、充電器の取扱説明書またはお手持ちの商品の取扱説明書（充電方法）をお読みください。

## ●電池パックの保管について

### ⚠ 注意

- ・電池容量が少ない状態で放置しないでください。
- ・満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、満充電にして保管してください。
- ・電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管してください。

## ●電池寿命について

- ・正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命とお考えいただき、新しい電池パックをお買い求めください。

# ご使用前の準備

## ●帯ノコ刃の取付け

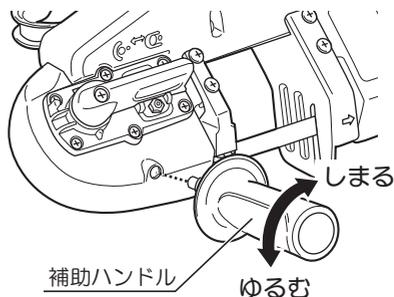
- ・ 17 ページ「●帯ノコ刃の取付け・取外し（取付け）」の手順で帯ノコ刃を取付けてください。

## ●補助ハンドルの取付け

- ・ 付属品の補助ハンドルを図のように取付けてください。

### ⚠ 注意

- ・ 補助ハンドルは必ず取付け、両手で作業してください。けがの原因になります。



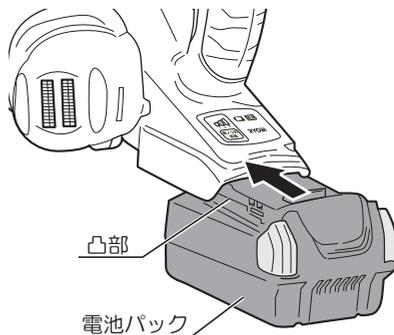
## ●電池パックの取付け、取外し

### ⚠ 警告

- ・ 電池パックの取付け、取外しのときは、スイッチに指をかけないでください。不意な始動によるけがの原因になります。
- ・ 使用前には、電池パックが本体に確実に取付けられていることを必ず確認してください。不完全な状態ですと、作業中に電池パックが落下して、けがなどをするおそれがあります。

### （取付け）

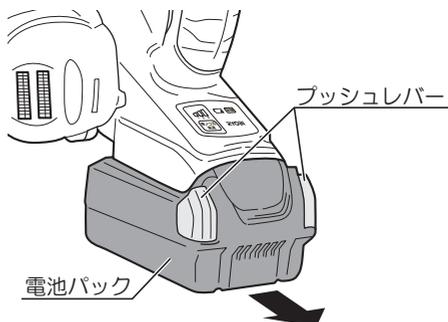
- ・ 本体内側の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、『カチッ』と音がするまでさし込みます。



(取外し)

- ・ 両側のプッシュレバーを押えて、矢印方向にまっすぐに電池パックをスライドして取外します。

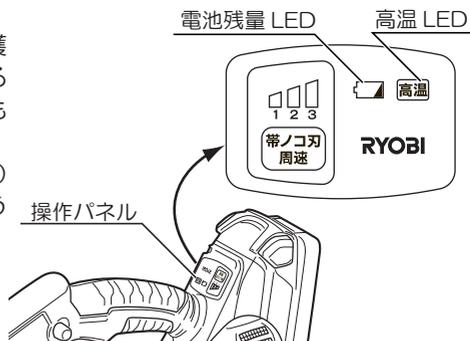
 電池パックの種類により、プッシュレバーの位置が異なります。



●保護回路と電池状態について

- ・ 本機には本体および電池寿命を保つため保護回路を搭載しており、保護回路が働いているときは動きません。また、電池切れの場合も動きません。

本体が動かないときは、トリガ（スイッチ）を引き、操作パネルのランプ表示を確認のうえ、原因を取除いてください。



本体が動かなくなった			
LED ランプ表示	電池残量 LED 点灯	電池残量 LED / 高温 LED 交互に点滅	高温 LED 点灯
原因	電池切れ	本体が過負荷状態	電池パックの温度が高い
処置	充電する	電池パックを取外して、 過負荷の原因を取除く	電池パックを冷やす
処置後も異常がある場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお持ちください。			

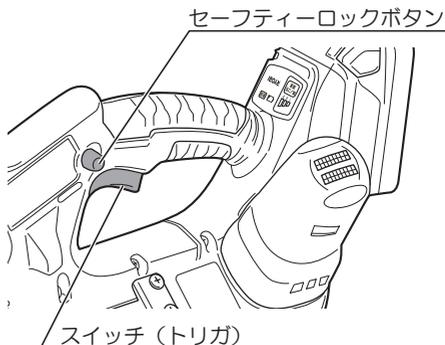
# 操作方法

## ●スイッチの扱い方

### ⚠警告

- ・本体に電池パックを取付ける前に、スイッチが切れていることを確認してください。スイッチを入れたまま電池パックを取付けると急に始動し、事故の原因になります。

- ・本機はセーフティースイッチを採用しています。セーフティーロックボタンを押さなければ（左右どちらからでもよい）スイッチは入りません。
- ・スイッチはセーフティーロックボタンを押しながらトリガを引くと入り、放すと切れます。
- ・スイッチから指を放すと自動的にセーフティーロックボタンが中央に戻り、スイッチが入らない状態になります。



## ●LED ライトについて

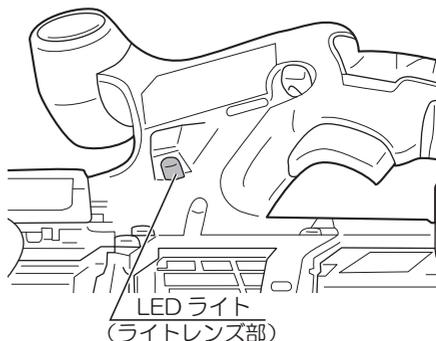
### ⚠警告

- ・LED ライトの光を直接のぞきこんだり、目に当てないでください。LED ライトの光が連続して目にあると、目を痛める原因になります。

- ・暗がりでも切断箇所を明るく照らす LED ライトがついています。
- ・LED ライトはトリガを引くと点灯し、放すと 10 秒後に消えます。スイッチと連動しています。



- ・ライトレンズ部に付着したゴミは、柔らかい布などでふき取り、キズが付かないように注意してください。ライトレンズ部にキズが付くと、明るさの低下の原因になります。
- ・ライトレンズの清掃の際は、ガソリン、シンナーなどでふかないでください。レンズを傷めます。



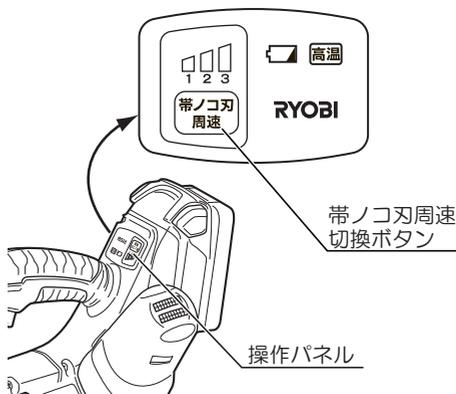
## ● 帯ノコ刃周速の設定について

- ・ 本機は帯ノコ刃周速を 3 段階に切換えできません。

操作パネル上の帯ノコ刃周速切換用ボタンで、切断する材料の材質、肉厚、作業条件にあわせて周速を設定し、作業してください。



モーター動作中に切換えはできません。スイッチを切り、モーターが停止してから切換えてください。スイッチを切った後、30 秒間操作できます。(ランプ点灯中)



帯ノコ刃周速 (目安)		用途
1	↑ 低速 0.82 m/s (49 m/min)	↑ ステンレス・合金鋼などの難削材 鋼材 (丸棒・形鋼鋼管などの厚肉材) (肉厚 3.5mm 以上) 鋼材 (鋼管などの薄肉材) (肉厚 3.5mm 以下) ↓
2	中速 1.35 m/s (81 m/min)	
3	↓ 高速 2.7 m/s (162 m/min)	

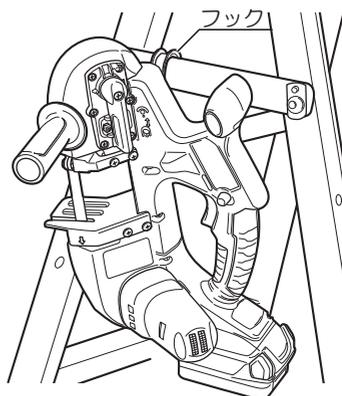
※作業条件などによって、周速が上記より異なる場合があります。

## ● フックについて

- ・ 仮置に便利なフックが付いています。脚立、足場などに吊り下げて使用してください。



・ フックが確実に掛からない場所には吊り下げないでください。  
・ 本機を吊り下げて、脚立などが不安定になる場合は吊り下げないでください。



# 操作方法

## ●帯ノコ刃の取付け、取外し

### ⚠警告

- ・ 帯ノコ刃の取付け、取外しの前には、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

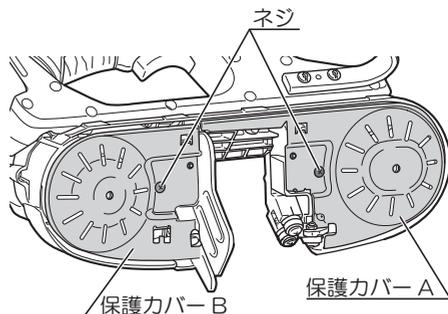
### ⚠注意

- ・ 作業直後の帯ノコ刃は高温になっていますので素手では触れないでください。やけどの原因になります。
- ・ 帯ノコ刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し十分注意してください。けがの原因になります。
- ・ テンションレバーが硬い場合がありますので、けがをしないように注意してください。

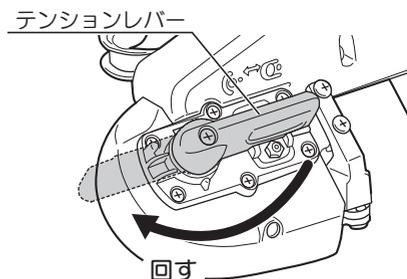
### (取付け)

※ 補助ハンドルが取付けてある場合は、取外してください。

1. ネジ（2本）をお手持ちの⊕ドライバでゆるめ、保護カバー A, B を取外します。



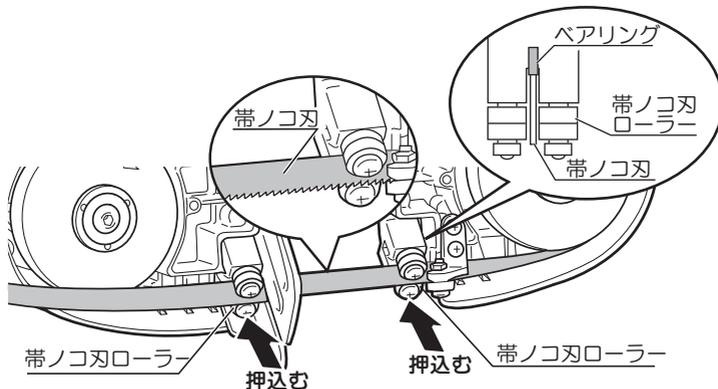
2. テンションレバーを矢印方向に 180° 回します。



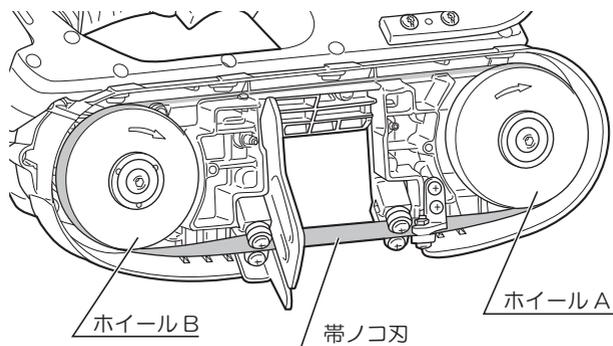
3. 帯ノコ刃を背側から帯ノコ刃ローラーに挿入します。



- ・ 帯ノコ刃は背が帯ノコ刃ローラーの奥にあるベアリングに突き当たるまで押込んでください。
- ・ 帯ノコ刃の向きに注意してください。



4. 帯ノコ刃が外れないように押さえながら、ホイール A, B に帯ノコ刃を掛けます。

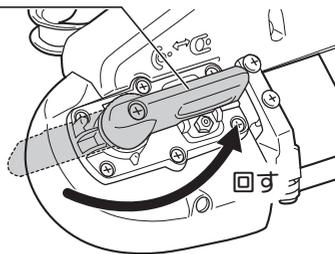


5. テンションレバーを矢印方向に 180° 回し、帯ノコ刃を張ります。



テンションレバーを矢印方向に回すときは、帯ノコ刃に手が挟まれたり、けがをしないように注意してください。

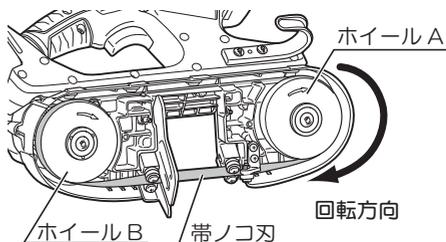
テンションレバー



# 操作方法

6. 帯ノコ刃を回転方向に手で動かし、帯ノコ刃がホイール A, B に正しく掛かっているか確認します。

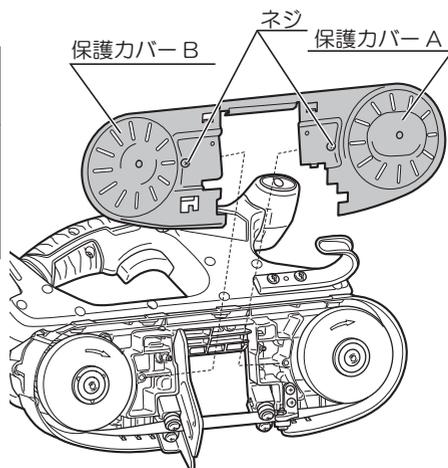
正しく掛かっていない場合はテンションレバーを時計方向に 180° 回して帯ノコ刃の張りをゆるめ、帯ノコ刃を掛け直してください。



7. 保護カバー A, B を取付け、ネジを締付けて固定します。

## ⚠ 警告

保護カバー A, B は必ず取付けてください。帯ノコ刃が破損したり、外れたとき、けがの原因になります。



8. 電源スイッチの ON/OFF を数回繰り返し、帯ノコ刃が正しく装着されているか確認します。

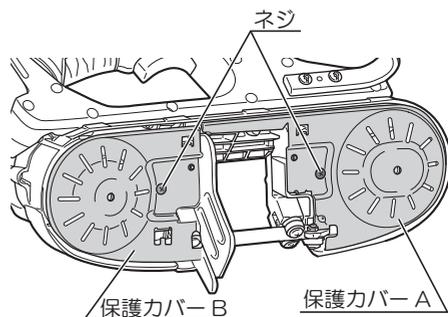
帯ノコ刃が安定して走行していない場合は、一度帯ノコ刃を取外し、1 項からやり直してください。

※ 補助ハンドルを取付けて作業してください。

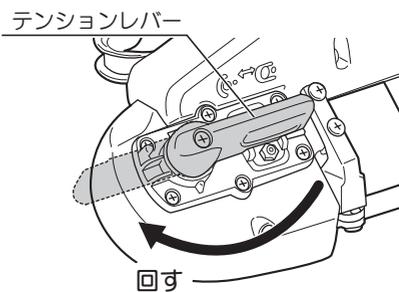
## (取外し)

※ 補助ハンドルが取付けてある場合は、取外してください。

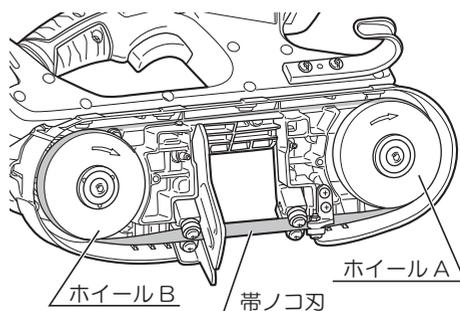
1. ネジ (2 本) をお手持ちの⊕ドライバでゆるめ、保護カバー A, B を取外します。



2. テンションレバーを矢印方向に 180° 回し、帯ノコ刃の張りをゆるめます。

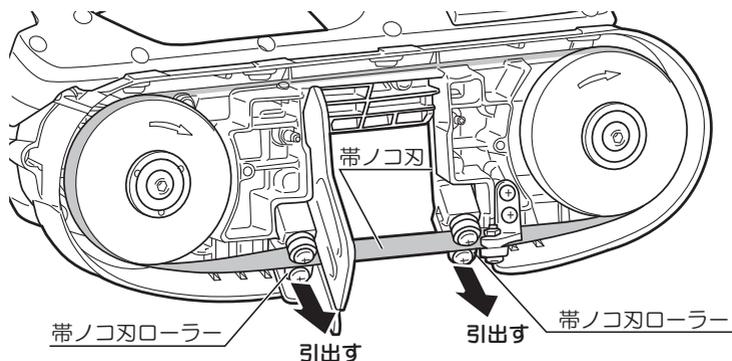


3. 帯ノコ刃をホイール A, B から外します。



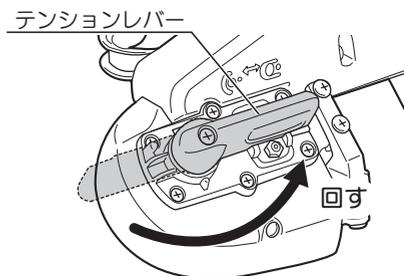
# 操作方法

4. 帯ノコ刃ローラーから帯ノコ刃を引出します。

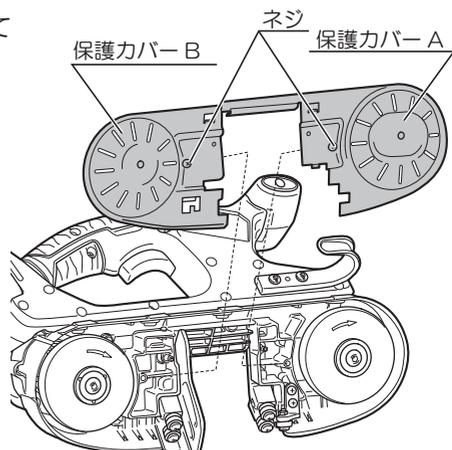


5. 新しい帯ノコ刃を取付ける場合は、18～19ページの3項～8項の手順で取付けてください。  
帯ノコ刃を取付けない場合は、以下の手順に従ってください。

6. テンションレバーを矢印方向に180°回します。



7. 保護カバー A, B を取付け、ネジを締付けてください。



# 切断作業

## ⚠ 警告

- ・補助ハンドルを取付け、両手で本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ・保護カバー A, B は必ず取付けてください。切断時に切り粉が飛散したり、帯ノコ刃が破断したり、外れた場合、本体から飛び出してけがの原因になります。
- ・作業中に本体を強く押さえずぎたり、帯ノコ刃をこねるようなししないでください。
- ・帯ノコ刃にテンションが掛かっている（帯ノコ刃が張られている）ことを確認してから作業を行なってください。
- ・材料をしっかりと固定してから作業を行なってください。材料の固定が不十分ですと、材料が動いたり帯ノコ刃が破損して、けがの原因になります。
- ・作業中は、帯ノコ刃に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。

## ⚠ 注意

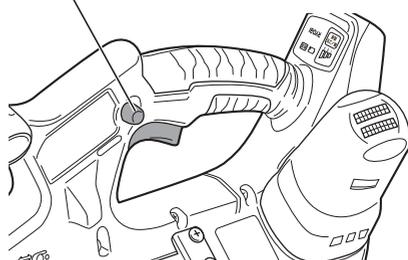
- ・作業時、本体は軽く力を加えるだけで十分です。必要以上に強く押付けると帯ノコ刃を傷めて作業率が下がったり、切断後の衝撃が大きく、保護カバーにダメージを与える可能性があります。
- ・新しい帯ノコ刃を取付けた場合は、必ずならし切断をしてください。  
ならし切断をしないと刃先の欠けの原因となり、切断精度が悪くなります。
- ・熱軟化性プラスチックは切断しないでください。切断時の熱によって材料が溶けて、帯ノコ刃が材料に食い込む場合があります。
- ・鉛を含んでいるコーティング、いくつかの種類の鋳物や金属、石綿などの材料から出る切り粉やほこりは、人体に有害です。切り粉やほこりに触れたり吸込んだりすると、アレルギー反応を引き起こしたり、呼吸感染症に至ることがあります。身体に有害な切り粉などが発生する作業の場合には、防じん対策をしてください。
- ・保護カバー A, B を外したままで本機を始動させないでください。帯ノコ刃に身体が巻込まれたり、帯ノコ刃が外れたりするおそれがあります。
- ・帯ノコ刃を取付けた状態での空回し運転は、できるだけ短時間にしてください。  
帯ノコ刃の寿命が短くなります。

# 切断作業

## ① スイッチが切れていることを確かめる

不意の始動によるけがの発生を防ぐため、電池パックを取付ける前に、セーフティーロックボタンが押されていないことを確認してください。

セーフティーロックボタン

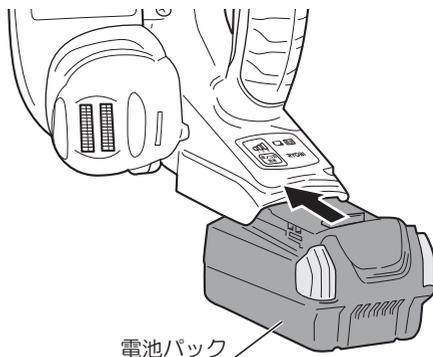


## ② 帯ノコ刃周速を設定する

切断する材料に合わせて設定します。  
(16 ページ「●帯ノコ刃周速の設定について」参照)

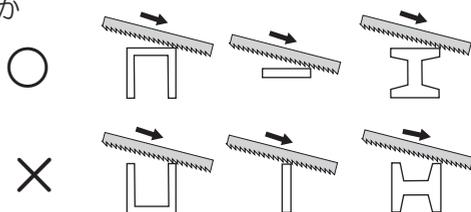
## ③ 電池パックを取付ける

「カチッ」と音がするまでしっかりとさし込んでください。



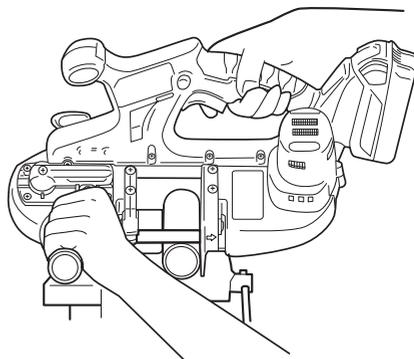
## ④ 切断する

1. 帯ノコ刃の歯が2山以上材料の切断面にかかるように、材料の向きを選定します。



2. ハンドルと補助ハンドルを確実に持ち、ガイドプレートに材料を当てます。
3. セーフティーロックボタンを押しながら、トリガを引きます。

十分に回転が上がったら、ゆっくりと帯ノコ刃を材料にあてて切断します。



帯ノコ刃の回転が鈍くならないように切断してください。無理に力を入れて強く押込んでも速く切断できません。



狭い場所の作業で補助ハンドルが使用できない場合は、ハンドルとグリップを両手で確実に保持してください。

## ⑤ 切断作業を終了する

トリガから指を放すと、帯ノコ刃が止まります。



- ・ スイッチを切った後、帯ノコ刃の動きを何かに押付けて急激に止めるようなことはしないでください。
- ・ 帯ノコ刃が完全に止まってから、床などに置いてください。

## ⑥ 帯ノコ刃を取外す

長期使用しない場合は、本体より帯ノコ刃を取外してください。

(20 ページ「●帯ノコ刃の取付け、取外し（取外し）」参照)



本体に取付けたままにしておくと、帯ノコ刃の寿命が短くなります。

# 保守と点検

## ⚠ 警告

- ・保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

### ●帯ノコ刃の交換

- ・帯ノコ刃は常に切れ味の良い物を使用してください。切れない帯ノコ刃を使用すると、作業効率が悪いばかりでなく、モーターが過負荷状態になり、保護回路の作動による停止や故障の原因になります。

早めに新品と交換してください。(17 ページ「●帯ノコ刃の取付け、取外し」参照)



帯ノコ刃を交換しても保護回路による停止が発生する場合は、電池残量が少なくなっている、もしくは製品本体が高温になっている場合があります。そのときは、電池を充電する、本体を冷やすなどの対応をしてください。(14 ページ「●保護回路と電池状態について」参照)

### ●各部取付けネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

### ●使用後の手入れ

- ・油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

### ●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
- ・電池パックを長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
  - a. リチウムイオン電池は、充電状態で保管すること。
  - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
  - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管は禁止する。
  - d. - 20℃以下で保管しないこと。
  - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
  - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
  - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。

- h. 水を付着させないこと。
- i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
- j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
- k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
- l. 電池パックを保管する際は、必ず充電器から取外して保管すること。

## ●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

## 商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル **0570-666-787**

受付時間：月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）  
9時から12時まで、12時50分から17時30分まで

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、  
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。



**RYOBI**

発売元

**リョービ販売株式会社**

本社 〒468-8512  
名古屋市天白区久方 1-145-1  
TEL.(052)806-5111 FAX.(052)806-5141  
<http://www.ryobi-group.co.jp/r-sales/>